

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 中之島小学校
校長氏名	馬 場 秀 典
作成日	平成31年 3月 1日

1 教育目標

教育目標:豊かな心と学ぶ意欲をもちたくましく生きる子どもの育成
 めざす子ども像:「豊かな心情をもち、思いやりのある子供」「学ぶ意欲をもち、自らのめあて(課題)に向かって取り組める子供」「互いの良さに気づき個性を伸ばしていける子供」「心身共に健康な子供」

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力学習状況調査 ○県学習到達度調査 ○学校アンケート 勉強がわかる 85% 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校アンケート 学校が楽しい 93% 友達と仲良くしている 98% 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力運動能力調査 ○学校アンケート 早寝早起き朝ご飯 84% 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校アンケート 学校の様子をよく伝えている 83% ○学校と家庭の連携協力 69%
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の確かな定着 ○授業力の向上 ○家庭学習の充実 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育の充実 ○いじめの未然防止 ○仲間づくりの実施 ○道徳の授業研究 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育科教育の充実 ○基本的生活習慣の確立 ○運動好きの子供の育成 ○体力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域との連携充実 ○保幼小の接続 ○中学校区の学校間連携 ○地域の資源活用の推進
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中之島タイムを充実させ基礎基本の定着に取り組んだ。 ・家庭学習の手引きを作成し、保護者と協力しながら、家庭学習や読書習慣の定着を図った。 ・一人1研究授業を行い、授業の工夫改善に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業実践の充実を図った。 ・いじめアンケートを実施。早期発見に努めた。 ・情報モラル等の出前授業を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科別で研究授業を提案した。 ・中之島チャレンジを実施、体力の向上に取り組んだ。 ・学期に1回ドラドラ貯金を実施、生活習慣の改善に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りや中之島新聞を発行し、学校の状況を広く広報した。 ・地域の福寿会さんの協力を得て、昔遊びや豆まきを実施した。 ・幼稚園、保育所と交流を行った。
取組の成果と課題(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・県の学習到達度調査では5年生の国語以外は県平均を下回っていた。 ・校内の研究授業を行い、授業改善の成果をあげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、「仲良く助け合う子の育成」で昨年を7ポイント下回った。 ・縦割りの活動では上級生は下級生の面倒をよく見て、効果的に活動することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起き朝ご飯は昨年を2ポイント上回っていた。 ・体力テストでは男女ともいい結果であった。男子は1～5年生で全国平均を上回った。女子は4年生以外で全国平均を上回った。柔軟性は高く、投力に課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート「学校は子供の様子を伝えている」で昨年を7ポイント下回った。 ・学校開放月間にはたくさんの方に来校していただいた。 ・ホームページの更新に課題があった。
改善方法(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化 ・規則正しい生活習慣の確立 ・授業力の向上 ・基礎基本の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業の充実 ・すべての教育活動を通じた人権感覚の醸成 ・保幼小の交流の充実 ・縦割り活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業の充実 ・中之島チャレンジの充実 ・児童の遊び場の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの更新 ・地域人材のさらなる活用 ・地域へ学校の情報を発信する。ツールの工夫

3 その他の課題

○大きい学校ではないが、様々な課題を抱えている児童がたくさんいる。それぞれの子供に寄り添って対応するには人材が不足している。地域の人材や学生ボランティアなどの活用も考えていかなければならない。
 ○できる子、できない子の二極化が見られる。学習に遅れのある子供にどう対応するかが大きな課題である。
 ○運動好きの子供は多くなっているが、技術面での向上には課題がある。